

「いわて男女共同参画プラン」の主な指標の達成状況について

主な指標の平成 27 年度の達成状況

対象指標：38（主要指標は 15 であるが、参考指標の 23 を含む）ただし、判定は主要指標のみ。

I 男女共同参画をリード・サポートする人材の育成

- 男女共同参画社会基本法の名称又は内容を知っている住民の割合は、前回調査（平成 24 年度調査）の 56.0%より、3.9 ポイント増加したが、目標には達しなかった。
- 男性の男女共同参画サポーター認定者数は目標を下回ってはいるが着実に増加している。また、男性サポーターがいる市町村の割合は前年度と変わらず、目標に達しなかった。
- 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の 40%未満にならない審議会等の全審議会等における割合は、前年度より下降し、目標に達しなかった。
- 県職員管理監督者（係長相当職以上）に占める女性の割合は、目標には達していないが上昇傾向。
- 教職員の管理職に占める女性の割合は、前年度より 1.2 ポイント下降し、目標には達していない。

II 家庭・地域・職場において個性と能力を発揮できる社会づくり

- 職場において男女が平等と感じている人の割合は、前回調査の 23.5%に比べて 0.4 ポイントの増となったが、目標に達しなかった。
- 家族経営協定締結農家数は、前年度より増加したが、目標に達しなかった。農業農村指導士に占める女性の割合は目標を達成した。
- 女性の漁業士数（累計）は前年度より 3 人減となり、目標に達しなかった。
- 社会慣習の中での不平等感の割合は、前回調査の 72.7%より 0.4 ポイント増加し、目標値を大きく上回り、目標に達していない。

III 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援

- DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合は、前回調査の 72.6%より、3.6 ポイント上昇したが、目標に達しなかった。
- 自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合は、前回調査の 42.3%より 0.7 ポイント下降し、目標に達しなかった。